

耕作放棄地対策に関する意向及び実態把握調査票

< 1. 共通調査票 >

I. 記入方法

調査票に基づき、市町村等の担当者が記入してください。

調査は、平成26年2月1日現在で記入してください。

注) 本調査票には、【1】～【8】までの設問があります。【1】～【6】はすべての市町村が、【7】～【8】は「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」の利用実績がない市町村のみ、ご記入ください。

II. 調査票

基本指標				
農政局等	都道府県	市町村	旧市区町村名	整理番号

農業地域類型区分			
都市的地域	平地農業地域	中間農業地域	山間農業地域

※ 農業地域類型区分の目安については、別添「農業地域類型区分一覧表」を参照してください。

※ 貴市町村内に上記区分の地域が複数存在する場合、各区分ごとの調査票に記入してください。

【1】最近5年間で荒廃農地について、所有者等の意向を把握したことがありますか。該当する項目一つに○を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	把握済み（把握した主な方法→	
b	把握予定（把握する主な方法→	
c	把握していない	

【2】耕作放棄地対策について、貴市町村における取組体制はどのようになっていますか。該当する項目一つに◎又は○を記入してください。

注1) 取組体制の中で、市町村関係部局と農業委員会の連携が十分図られている場合には◎、連携はしているが十分とはいえない場合は○を記入してください。

注2) 記入に当たっては、a、b、cを選択する場合は、◎又は○を、d、e、fを選択する場合は、○を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	耕作放棄地対策協議会を設置し、協議会メンバーが連携して実施	
b	市町村単独での取組には限界があり、関係機関に働きかけて耕作放棄地対策協議会を設置し、実施予定	
c	市町村関係部局、農業委員会が連携して実施	
d	農業委員会が中心となって実施	
e	市町村単独で実施	
f	その他(具体的に→	

【3】「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」結果のうち、①A分類（再生利用が可能な荒廃農地(以下「A分類」という。)：農地法第30条第3項第1号に該当する農地)、②B分類(再生利用が困難と見込まれる荒廃農地(以下「B分類」という。))、③耕地への再生、④非農地処理 の整理状況について、該当する項目一つに◎又は○を記入してください。

注) 台帳及び地図(航空写真含む)の両方に記載している場合には◎、台帳のみ記載の場合は○を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	①の調査結果のみ記載し管理している	
b	①及び②の調査結果を記載し管理している	
c	①及び③の調査結果を記載し管理している	
d	①及び④の調査結果を記載し管理している	
e	①、②及び③の調査結果を記載し管理している	
f	①、②及び④の調査結果を記載し管理している	
g	①、③及び④の調査結果を記載し管理している	
h	①～④の全ての調査結果を記載し管理している	
i	その他(具体的に→	

【4】荒廃農地の発生場所等について

(1) -① どのような場所に多く発生していますか。該当する項目について、その割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

注) 傾斜度は、中山間地域等直接支払制度における基準によります。

番号	項目	記入欄
a	急傾斜地	割
b	緩傾斜地	割
c	平地	割

(1) -② どのような農地に多く発生していますか。

該当するすべての項目について、○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	集落周辺の水田	
b	集落周辺の畑	
c	市街地周辺の水田	
d	市街地周辺の畑	
e	幹線道路沿いの農地	
f	中山間農地・谷津田	
g	ほ場整備済みの農地	
h	ほ場整備未実施の農地	

(2) スプロール的に発生している荒廃農地について、それぞれの項目に、◎(非常に多い)、○(多い)、△(少ない)、×(ない)を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	全体の荒廃農地のうち、スプロール的に発生している面積	
b	基盤整備実施地区の荒廃農地のうち、スプロール的に発生している面積	
c	基盤整備未実施地区の荒廃農地のうち、スプロール的に発生している面積	

(3) A分類のうち、傾斜地、湿田等により再生に費用が掛かりすぎる又は条件が悪く受け手が見込めない等の理由により、将来的に再生利用が困難と見込まれる荒廃農地になるとと思われる農地は何割ですか。

記入欄
割

【5】再生された荒廃農地の状況について

(1) -① 再生された荒廃農地の荒廃の程度について、最も多いと思われる項目一つに○を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	A分類のうち、荒廃の程度が軽い荒廃農地(=耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(以下「交付金」という。)の対象外の荒廃農地)	
b	A分類のうち、荒廃の程度が進行しB分類に近い荒廃農地	
c	A分類のうち、荒廃の程度が中程度の荒廃農地 (a < c < b)	
d	再生された荒廃農地がない	
e	その他(具体的に→	

(1) -② どのような場所に発生した荒廃農地が再生されていますか。該当する項目(a、b、c)について、その割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)
 なお、「d」に該当する場合には、○を記入してください。
 注) 傾斜度は、中山間地域等直接支払制度における基準によります。

番号	項目	記入欄
a	急傾斜地	割
b	緩傾斜地	割
c	平地	割
d	再生された荒廃農地がない	

(1) -③ どのような農地に発生した荒廃農地が再生されていますか。該当するすべての項目について、○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	集落周辺の水田	
b	集落周辺の畑	
c	市街地周辺の水田	
d	市街地周辺の畑	
e	幹線道路沿いの農地	
f	中山間農地・谷津田	
g	ほ場整備済みの農地	
h	ほ場整備未実施の農地	
i	再生された荒廃農地がない	

(2) -① 荒廃農地の再生実績の経費負担はどのようになっていますか。該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	支援なし(自主再生)	割
b	支援あり(国)	割
c	支援あり(都道府県) ※国庫補助への上乗せ助成は含みません。	割
d	支援あり(市町村) ※国庫補助への上乗せ助成は含みません。	割
e	その他(具体的に→	割

(2) -② 荒廃農地の再生実績をみると、多くの地域で自主再生(国等の支援がない)が多い傾向にありますが、その主な理由には何が考えられると思いますか。最も良く当てはまるとと思われる項目に◎、良く当てはまるとと思われる項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	交付金のPR不足	
b	早く再生して利用したい(交付金を利用すると時間が掛かるため)	
c	再生費用が高額ではないので、交付金の支援を受けなくても良い(事業要件を満たす場合も含む)	
d	建設業者等が自ら所有する機械を利用して再生している	
e	受け手がいないため、所有者等が自ら再生して保全管理している	
f	その他(具体的に→	

(3) 都道府県に新たに設置される農地中間管理機構の活用について、どのように考え

ていますか。該当する項目一つに○を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	積極的に活用したい	
b	どちらかというと活用したい	
c	荒廃農地所有者等の希望があれば活用したい	
d	未定又は検討中	
e	活用は考えていない	

【6】荒廃農地の再生に取り組むにあたり、「人・農地プラン」の中に具体的な取組事項を整理することについて、どのように考えていますか。

該当する項目一つに○を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	「人・農地プラン」に整理して取り組みたい又は取り組む予定	
b	「人・農地プラン」に整理することについては、消極的又は取り組む予定はない	
c	未定又は検討中	

交付金を利用したことがある市町村は、これで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

以下の設問(【7】、【8】)は、**交付金を利用したことがない市町村**にお聞きします。

【7】交付金を利用していない主な理由は何ですか。

最も良く当てはまると思う項目に◎、良く当てはまると思う項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	再生して利用したい荒廃農地がない又は少ない(傾斜地等で条件が悪いため)	
b	担い手等が不足しているため、荒廃農地の再生利用実績がない又は少ない(保安全管理にとどまっている場合を含む)	
c	再生されている荒廃農地は、交付金を利用するほど荒廃の程度が進んでいないものが多い	
d	農業者等に対する交付金のPR不足	
e	交付金の申請等に係る事務手続が面倒又は時間が掛かる	
f	その他(具体的に→	

【8】今後、交付金を利用する予定はありますか。

該当する項目一つに○を記入してください。

ただし、農地中間管理機構が行う再生作業の取組は含みません。

番号	項目	記入欄
a	農業者等に積極的にPRして活用したい	
b	農業者等からの要望があれば活用したい	
c	利用には消極的	

共通調査票による設問はこれで終わりです。

ご協力ありがとうございました。

引き続き、地域類型別調査票(該当区分ごと)のご記入をお願いいたします。

耕作放棄地対策に関する意向及び実態把握調査票 ＜ 2. 地域類型別調査票 ＞

農業地域 類型区分	都市的地域(2-①)	
--------------	------------	--

基本指標				
農政局等	都道府県	市町村	旧市区町村名	整理番号

※ 以下の質問は、上記農業地域類型区分欄に○が表示されている場合にご回答願います。
 ※ 農業地域類型区分の目安については、別添「農業地域類型区分一覧表」を参照してください。

【9】 貴市町村における都市的地域の荒廃農地面積の状況について、現在と5年前を比較して、その傾向はどのようになっていますか。
 該当する項目一つに○を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	増加している	
b	変わらない	
c	減少している	
d	わからない	
e	その他(具体的に→	

【10】 荒廃農地となる理由について

- (1) の設問については、それぞれの項目に、◎(非常に多い)、○(多い)、△(少ない)、×(ない)を記入してください。
 (2)、(3)及び(4)の設問については、主な要因として多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

(1) 土地条件について

番号	項目	記入欄
a	基盤整備がなされていない	
b	傾斜地・湿田等自然的条件が悪い	
c	住宅地周辺・市町村の縁辺部等地理的条件が悪い	
d	その他(具体的に→	

(2) -① 耕作者について

番号	項目	記入欄
a	高齢化、労働力不足	
b	地域内に引き受け手がない	
c	離農のため	
d	経営転換(土地利用型→施設型等)	
e	その他(具体的に→	

(2) -② 「(2) -①」で、「c: 離農のため」に順位を記入した場合において、離農を決断したきっかけとして、多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	高齢化	
b	家族の病気、他出等による労働力不足	
c	農業用機械の更新	
d	その他(負債整理等)	

(3) -① 土地所有者について

番号	項目	記入欄
a	資産的保有意識が高く、農地を貸したがる	
b	土地持ち非農家の増加	
c	不在村地主の増加	
d	売買仮登記	
e	その他(具体的に→	

(3) -② 「(3) -①」で、「a: 資産的保有意識が高く、農地を貸したがる」に順位を記入した場合において、その理由として、多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	自分で管理しておきたい	
b	貸すとなかなか返還されないのが不安	
c	貸すのが面倒	
d	その他(具体的に→	

(4) 農作物について

番号	項目	記入欄
a	農産物価格の低迷	位
b	収益の上がる作物がない	位
c	米生産調整の際の適当な代替作物がない	位
d	かんきつ園地転換の際の適当な代替作物がない	位
e	鳥獣被害が大きいため	位
f	その他(具体的に→)	位

【11】 荒廃農地の「発生防止策」として取り組んでいるものは何ですか。該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	集落営農組織や認定農業者等の担い手となる経営体の育成及び農地斡旋等による農地集積	
b	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備	
c	中山間地域等直接支払制度や農地・水保全管理支払交付金等	
d	新規作物の導入、販路の確保	
e	鳥獣被害防止のための取組	
f	放牧利用	
g	市民農園や教育ファームの整備	
h	新規就農者への支援(研修等)や企業等の参入の促進	
i	土地所有者への啓発	
j	その他(具体的に→)	

【12】 貴市町村では、今後の荒廃農地の「発生防止策」として必要と思われることは何ですか。該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	集落営農組織や認定農業者等の担い手となる経営体の育成及び農地斡旋等による農地集積	
b	農地中間管理事業の活用	
c	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備	
d	中山間地域等直接支払制度や農地・水保全管理支払交付金のような取組(現在検討中の多面的機能支払交付金を含む)	
e	新規作物の導入、販路の確保	
f	鳥獣被害防止のための取組	
g	放牧利用	
h	市民農園や教育ファームの整備	
i	新規就農者への支援(研修等)や企業等の参入の促進	
j	土地所有者への啓発	
k	その他(具体的に→)	

【13】 過去5ヶ年の荒廃農地の解消状況について

(1) 解消された荒廃農地での取組について、該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備による再生	割
b	市民農園・教育ファームとしての活用	割
c	農地転用等非農業的利用(植林地、ピオトープ等)への転換	割
d	非農地処理	割
e	その他(具体的に→)	割

(2) 荒廃農地を再生した実施主体について、該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	荒廃農地所有者・賃借人(担い手を除く)等	割
b	担い手(認定農業者等)	割
c	新規就農者	割
d	農業に参入した企業	割
e	市町村公社等	割
f	その他(具体的に→)	割

(3) (2)で「b:担い手(認定農業者等)への農地利用集積」を選択した場合において、その担い手について、該当する項目の割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	個人	割
b	法人	割

(4) 荒廃農地を再生した者(実施主体)と所有者はどのような関係ですか。該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	隣接地耕作者	割
b	知人・親戚	割
c	農業委員会のあっせん等	割

(5) 荒廃農地の再生後に作付けされている農作物について、該当するすべての項目に

○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	従来より地域で栽培されている作物	
b	新規作物	
c	地域の伝統作物	
d	景観作物	
e	緑肥作物	
f	資源作物(油糧作物等)	
g	放牧利用	
h	その他(具体的に→	

【14】 荒廃農地の解消対策等について

(1) 今後、解消方法として取り組みたいと考えているもののうち、優先順位の高いものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備による再生	
b	農地中間管理事業の活用	
c	市民農園・教育ファームとしての活用	
d	農地転用等非農業的利用(植林地、ビオトープ等)への転換	
e	非農地処理	
f	その他(具体的に→	

(2) 今後、荒廃農地の再生に取り組む主体として期待するもののうち、期待の高い方から順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	所有者(が自ら耕作するよう地域をあげて取り組む)	
b	認定農業者等の規模拡大を指向する農家(へ農地の集積を図る)	
c	新規就農者等(へ農地を貸付・売渡し)	
d	一般企業等(による農業参入)	
e	市町村公社等(による農作業受託及び管理受託等)	
f	NPO法人や地域住民等多様な主体(の参画・協働)	
g	農地中間管理機構(の活用)	
h	その他(具体的に→	

【15】 荒廃農地の再生に取り組むにあたり、市町村、農業委員会、農協、土地改良区、農家以外で協力している者はいますか。

該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	周辺住民	
b	都市住民	
c	市民グループ	
d	学校	
e	企業	
f	NPO法人	
g	研究者等アドバイザー	
h	中山間地域等直接支払制度の協定集落や農地・水保全管理支払交付金の活動組織	
i	なし	
j	その他(具体的に→	

【16】 荒廃農地の再生に取り組むにあたり、今後、農業委員会、農協、土地改良区、農家及び農地中間管理機構以外で協力を得たいと考えている者はいますか。
該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	周辺住民	
b	都市住民	
c	市民グループ	
d	学校	
e	企業	
f	NPO法人	
g	研究者等アドバイザー	
h	中山間地域等直接支払制度の協定集落や農地・水保全管理支払交付金の活動組織	
i	なし	
j	その他(具体的に→	

ご協力ありがとうございました。

耕作放棄地対策に関する意向及び実態把握調査票 ＜2. 地域類型別調査票＞

農業地域 類型区分	平地農業地域(2-②)	
--------------	-------------	--

基本指標				
農政局等	都道府県	市町村	旧市区町村名	整理番号

※ 以下の質問は、上記農業地域類型区分欄に○が表示されている場合にご回答願います。
※ 農業地域類型区分の目安については、別添「農業地域類型区分一覧表」を参照してください。

【9】貴市町村における平地農業地域の荒廃農地面積の状況について、現在と5年前を比較して、その傾向はどのようになっていますか。

該当する項目一つに○を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	増加している	
b	変わらない	
c	減少している	
d	わからない	
e	その他(具体的に→	

【10】荒廃農地となる理由について

(1) の設問については、それぞれの項目に、◎(非常に多い)、○(多い)、△(少ない)、×(ない)を記入してください。

(2)、(3)及び(4)の設問については、主な要因として多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

(1) 土地条件について

番号	項目	記入欄
a	基盤整備がなされていない	
b	傾斜地・湿田等自然的条件が悪い	
c	住宅地周辺・市町村の縁辺部等地理的条件が悪い	
d	その他(具体的に→	

(2) -①耕作者について

番号	項目	記入欄
a	高齢化、労働力不足	
b	地域内に引き受け手がいない	
c	離農のため	
d	経営転換(土地利用型→施設型等)	
e	その他(具体的に→	

(2) -② 「(2) -①」で、「c: 離農のため」に順位を記入した場合において、離農を決断したきっかけとして、多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	高齢化	
b	家族の病気、他出等による労働力不足	
c	農業用機械の更新	
d	その他(負債整理等)	

(3) -①土地所有者について

番号	項目	記入欄
a	資産的保有意識が高く、農地を貸したがる	
b	土地持ち非農家の増加	
c	不在村地主の増加	
d	売買仮登記	
e	その他(具体的に→	

(3) -② 「(3) -①」で、「a: 資産的保有意識が高く、農地を貸したがる」に順位を記入した場合において、その理由として、多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	自分で管理しておきたい	
b	貸すとなかなか返還されないのが不安	
c	貸すのが面倒	
d	その他(具体的に→	

(4) 農作物について

番号	項目	記入欄
a	農産物価格の低迷	位
b	収益の上がる作物がない	位
c	米生産調整の際の適当な代替作物がない	位
d	かんきつ園地転換の際の適当な代替作物がない	位
e	鳥獣被害が大きいため	位
f	その他(具体的に→)	位

【11】 荒廃農地の「発生防止策」として取り組んでいるものは何ですか。該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	集落営農組織や認定農業者等の担い手となる経営体の育成及び農地斡旋等による農地集積	
b	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備	
c	中山間地域等直接支払制度や農地・水保全管理支払交付金等	
d	新規作物の導入、販路の確保	
e	鳥獣被害防止のための取組	
f	放牧利用	
g	市民農園や教育ファームの整備	
h	新規就農者への支援(研修等)や企業等の参入の促進	
i	土地所有者への啓発	
j	その他(具体的に→)	

【12】 貴市町村では、今後の荒廃農地の「発生防止策」として必要と思われることは何ですか。該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	集落営農組織や認定農業者等の担い手となる経営体の育成及び農地斡旋等による農地集積	
b	農地中間管理事業の活用	
c	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備	
d	中山間地域等直接支払制度や農地・水保全管理支払交付金のような取組(現在検討中の多面的機能支払交付金を含む)	
e	新規作物の導入、販路の確保	
f	鳥獣被害防止のための取組	
g	放牧利用	
h	市民農園や教育ファームの整備	
i	新規就農者への支援(研修等)や企業等の参入の促進	
j	土地所有者への啓発	
k	その他(具体的に→)	

【13】 過去5ヶ年の荒廃農地の解消状況について

(1) 解消された荒廃農地での取組について、該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備による再生	割
b	市民農園・教育ファームとしての活用	割
c	農地転用等非農業的利用(植林地、ビオトープ等)への転換	割
d	非農地処理	割
e	その他(具体的に→)	割

(2) 荒廃農地を再生した実施主体について、該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	荒廃農地所有者・賃借人(担い手を除く)等	割
b	担い手(認定農業者等)	割
c	新規就農者	割
d	農業に参入した企業	割
e	市町村公社等	割
f	その他(具体的に→)	割

(3) (2)で「b:担い手(認定農業者等)への農地利用集積」を選択した場合において、その担い手について、該当する項目の割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	個人	割
b	法人	割

(4) 荒廃農地を再生した者(実施主体)と所有者はどのような関係ですか。該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	隣接地耕作者	割
b	知人・親戚	割
c	農業委員会のあっせん等	割

(5) 荒廃農地の再生後に作付けされている農作物について、該当するすべての項目に

○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	従来より地域で栽培されている作物	
b	新規作物	
c	地域の伝統作物	
d	景観作物	
e	緑肥作物	
f	資源作物(油糧作物等)	
g	放牧利用	
h	その他(具体的に→	

【14】 荒廃農地の解消対策等について

(1) 今後、解消方法として取り組みたいと考えているもののうち、優先順位の高いものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備による再生	
b	農地中間管理事業の活用	
c	市民農園・教育ファームとしての活用	
d	農地転用等非農業的利用(植林地、ビオトープ等)への転換	
e	非農地処理	
f	その他(具体的に→	

(2) 今後、荒廃農地の再生に取り組む主体として期待するもののうち、期待の高い方から順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	所有者(が自ら耕作するよう地域をあげて取り組む)	
b	認定農業者等の規模拡大を指向する農家(へ農地の集積を図る)	
c	新規就農者等(へ農地を貸付・売渡し)	
d	一般企業等(による農業参入)	
e	市町村公社等(による農作業受託及び管理受託等)	
f	NPO法人や地域住民等多様な主体(の参画・協働)	
g	農地中間管理機構(の活用)	
h	その他(具体的に→	

【15】 荒廃農地の再生に取り組むにあたり、市町村、農業委員会、農協、土地改良区、農家以外で協力している者はいますか。

該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	周辺住民	
b	都市住民	
c	市民グループ	
d	学校	
e	企業	
f	NPO法人	
g	研究者等アドバイザー	
h	中山間地域等直接支払制度の協定集落や農地・水保全管理支払交付金の活動組織	
i	なし	
j	その他(具体的に→	

【16】 荒廃農地の再生に取り組むにあたり、今後、農業委員会、農協、土地改良区、農家及び農地中間管理機構以外で協力を得たいと考えている者はいますか。
該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	周辺住民	
b	都市住民	
c	市民グループ	
d	学校	
e	企業	
f	NPO法人	
g	研究者等アドバイザー	
h	中山間地域等直接支払制度の協定集落や農地・水保全管理支払交付金の活動組織	
i	なし	
j	その他(具体的に→	

ご協力ありがとうございました。

耕作放棄地対策に関する意向及び実態把握調査票 ＜2. 地域類型別調査票＞

農業地域 類型区分	中間農業地域(2-③)	
--------------	-------------	--

基本指標				
農政局等	都道府県	市町村	旧市区町村名	整理番号

※ 以下の質問は、上記農業地域類型区分欄に○が表示されている場合にご回答願います。
※ 農業地域類型区分の目安については、別添「農業地域類型区分一覧表」を参照してください。

【9】貴市町村における中間農業地域の荒廃農地面積の状況について、現在と5年前を比較して、その傾向はどのようになっていますか。

該当する項目一つに○を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	増加している	
b	変わらない	
c	減少している	
d	わからない	
e	その他(具体的に→	

【10】荒廃農地となる理由について

(1) の設問については、それぞれの項目に、◎(非常に多い)、○(多い)、△(少ない)、×(ない)を記入してください。

(2)、(3)及び(4)の設問については、主な要因として多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

(1) 土地条件について

番号	項目	記入欄
a	基盤整備がなされていない	
b	傾斜地・湿田等自然的条件が悪い	
c	住宅地周辺・市町村の縁辺部等地理的条件が悪い	
d	その他(具体的に→	

(2) -① 耕作者について

番号	項目	記入欄
a	高齢化、労働力不足	
b	地域内に引き受け手がいない	
c	離農のため	
d	経営転換(土地利用型→施設型等)	
e	その他(具体的に→	

(2) -② 「(2) -①」で、「c: 離農のため」に順位を記入した場合において、離農を決断したきっかけとして、多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	高齢化	
b	家族の病気、他出等による労働力不足	
c	農業用機械の更新	
d	その他(負債整理等)	

(3) -① 土地所有者について

番号	項目	記入欄
a	資産的保有意識が高く、農地を貸したがる	
b	土地持ち非農家の増加	
c	不在村地主の増加	
d	売買仮登記	
e	その他(具体的に→	

(3) -② 「(3) -①」で、「a: 資産的保有意識が高く、農地を貸したがる」に順位を記入した場合において、その理由として、多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	自分で管理しておきたい	
b	貸すとなかなか返還されないのが不安	
c	貸すのが面倒	
d	その他(具体的に→	

(4) 農作物について

番号	項目	記入欄
a	農産物価格の低迷	位
b	収益の上がる作物がない	位
c	米生産調整の際の適当な代替作物がない	位
d	かんきつ園地転換の際の適当な代替作物がない	位
e	鳥獣被害が大きいため	位
f	その他(具体的に→)	位

【11】 荒廃農地の「発生防止策」として取り組んでいるものは何ですか。該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	集落営農組織や認定農業者等の担い手となる経営体の育成及び農地斡旋等による農地集積	
b	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備	
c	中山間地域等直接支払制度や農地・水保全管理支払交付金等	
d	新規作物の導入、販路の確保	
e	鳥獣被害防止のための取組	
f	放牧利用	
g	市民農園や教育ファームの整備	
h	新規就農者への支援(研修等)や企業等の参入の促進	
i	土地所有者への啓発	
j	その他(具体的に→)	

【12】 貴市町村では、今後の荒廃農地の「発生防止策」として必要と思われることは何ですか。該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	集落営農組織や認定農業者等の担い手となる経営体の育成及び農地斡旋等による農地集積	
b	農地中間管理事業の活用	
c	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備	
d	中山間地域等直接支払制度や農地・水保全管理支払交付金のような取組(現在検討中の多面的機能支払交付金を含む)	
e	新規作物の導入、販路の確保	
f	鳥獣被害防止のための取組	
g	放牧利用	
h	市民農園や教育ファームの整備	
i	新規就農者への支援(研修等)や企業等の参入の促進	
j	土地所有者への啓発	
k	その他(具体的に→)	

【13】 過去5ヶ年の荒廃農地の解消状況について

(1) 解消された荒廃農地での取組について、該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備による再生	割
b	市民農園・教育ファームとしての活用	割
c	農地転用等非農業的利用(植林地、ビオトープ等)への転換	割
d	非農地処理	割
e	その他(具体的に→)	割

(2) 荒廃農地を再生した実施主体について、該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	荒廃農地所有者・賃借人(担い手を除く)等	割
b	担い手(認定農業者等)	割
c	新規就農者	割
d	農業に参入した企業	割
e	市町村公社等	割
f	その他(具体的に→)	割

(3) (2)で「b:担い手(認定農業者等)への農地利用集積」を選択した場合において、その担い手について、該当する項目の割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	個人	割
b	法人	割

(4) 荒廃農地を再生した者(実施主体)と所有者はどのような関係ですか。該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	隣接地耕作者	割
b	知人・親戚	割
c	農業委員会のあっせん等	割

(5) 荒廃農地の再生後に作付けされている農作物について、該当するすべての項目に

○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	従来より地域で栽培されている作物	
b	新規作物	
c	地域の伝統作物	
d	景観作物	
e	緑肥作物	
f	資源作物(油糧作物等)	
g	放牧利用	
h	その他(具体的に→	

【14】 荒廃農地の解消対策等について

(1) 今後、解消方法として取り組みたいと考えているもののうち、優先順位の高いものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備による再生	
b	農地中間管理事業の活用	
c	市民農園・教育ファームとしての活用	
d	農地転用等非農業的利用(植林地、ビオトープ等)への転換	
e	非農地処理	
f	その他(具体的に→	

(2) 今後、荒廃農地の再生に取り組む主体として期待するもののうち、期待の高い方から順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	所有者(が自ら耕作するよう地域をあげて取り組む)	
b	認定農業者等の規模拡大を指向する農家(へ農地の集積を図る)	
c	新規就農者等(へ農地を貸付・売渡し)	
d	一般企業等(による農業参入)	
e	市町村公社等(による農作業受託及び管理受託等)	
f	NPO法人や地域住民等多様な主体(の参画・協働)	
g	農地中間管理機構(の活用)	
h	その他(具体的に→	

【15】 荒廃農地の再生に取り組むにあたり、市町村、農業委員会、農協、土地改良区、農家以外で協力している者はいますか。

該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	周辺住民	
b	都市住民	
c	市民グループ	
d	学校	
e	企業	
f	NPO法人	
g	研究者等アドバイザー	
h	中山間地域等直接支払制度の協定集落や農地・水保全管理支払交付金の活動組織	
i	なし	
j	その他(具体的に→	

【16】 荒廃農地の再生に取り組むにあたり、今後、農業委員会、農協、土地改良区、農家及び農地中間管理機構以外で協力を得たいと考えている者はいますか。
該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	周辺住民	
b	都市住民	
c	市民グループ	
d	学校	
e	企業	
f	NPO法人	
g	研究者等アドバイザー	
h	中山間地域等直接支払制度の協定集落や農地・水保全管理支払交付金の活動組織	
i	なし	
j	その他(具体的に→	

ご協力ありがとうございました。

耕作放棄地対策に関する意向及び実態把握調査票 ＜2. 地域類型別調査票＞

農業地域 類型区分	山間農業地域(2-④)	
--------------	-------------	--

基本指標				
農政局等	都道府県	市町村	旧市区町村名	整理番号

※ 以下の質問は、上記農業地域類型区分欄に○が表示されている場合にご回答願います。
※ 農業地域類型区分の目安については、別添「農業地域類型区分一覧表」を参照してください。

【9】貴市町村における山間農業地域の荒廃農地面積の状況について、現在と5年前を比較して、その傾向はどのようになっていますか。

該当する項目一つに○を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	増加している	
b	変わらない	
c	減少している	
d	わからない	
e	その他(具体的に→	

【10】荒廃農地となる理由について

(1) の設問については、それぞれの項目に、◎(非常に多い)、○(多い)、△(少ない)、×(ない)を記入してください。

(2)、(3)及び(4)の設問については、主な要因として多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

(1) 土地条件について

番号	項目	記入欄
a	基盤整備がなされていない	
b	傾斜地・湿田等自然的条件が悪い	
c	住宅地周辺・市町村の縁辺部等地理的条件が悪い	
d	その他(具体的に→	

(2) -① 耕作者について

番号	項目	記入欄
a	高齢化、労働力不足	
b	地域内に引き受け手がいない	
c	離農のため	
d	経営転換(土地利用型→施設型等)	
e	その他(具体的に→	

(2) -② 「(2) -①」で、「c: 離農のため」に順位を記入した場合において、離農を決断したきっかけとして、多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	高齢化	
b	家族の病気、他出等による労働力不足	
c	農業用機械の更新	
d	その他(負債整理等)	

(3) -① 土地所有者について

番号	項目	記入欄
a	資産的保有意識が高く、農地を貸したがる	
b	土地持ち非農家の増加	
c	不在村地主の増加	
d	売買仮登記	
e	その他(具体的に→	

(3) -② 「(3) -①」で、「a: 資産的保有意識が高く、農地を貸したがる」に順位を記入した場合において、その理由として、多いと思われるものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	自分で管理しておきたい	
b	貸すとなかなか返還されないのが不安	
c	貸すのが面倒	
d	その他(具体的に→	

(4) 農作物について

番号	項目	記入欄
a	農産物価格の低迷	位
b	収益の上がる作物がない	位
c	米生産調整の際の適当な代替作物がない	位
d	かんきつ園地転換の際の適当な代替作物がない	位
e	鳥獣被害が大きいため	位
f	その他(具体的に→)	位

【11】 荒廃農地の「発生防止策」として取り組んでいるものは何ですか。該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	集落営農組織や認定農業者等の担い手となる経営体の育成及び農地斡旋等による農地集積	
b	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備	
c	中山間地域等直接支払制度や農地・水保全管理支払交付金等	
d	新規作物の導入、販路の確保	
e	鳥獣被害防止のための取組	
f	放牧利用	
g	市民農園や教育ファームの整備	
h	新規就農者への支援(研修等)や企業等の参入の促進	
i	土地所有者への啓発	
j	その他(具体的に→)	

【12】 貴市町村では、今後の荒廃農地の「発生防止策」として必要と思われることは何ですか。該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	集落営農組織や認定農業者等の担い手となる経営体の育成及び農地斡旋等による農地集積	
b	農地中間管理事業の活用	
c	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備	
d	中山間地域等直接支払制度や農地・水保全管理支払交付金のような取組(現在検討中の多面的機能支払交付金を含む)	
e	新規作物の導入、販路の確保	
f	鳥獣被害防止のための取組	
g	放牧利用	
h	市民農園や教育ファームの整備	
i	新規就農者への支援(研修等)や企業等の参入の促進	
j	土地所有者への啓発	
k	その他(具体的に→)	

【13】 過去5ヶ年の荒廃農地の解消状況について

(1) 解消された荒廃農地での取組について、該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備による再生	割
b	市民農園・教育ファームとしての活用	割
c	農地転用等非農業的利用(植林地、ピオトープ等)への転換	割
d	非農地処理	割
e	その他(具体的に→)	割

(2) 荒廃農地を再生した実施主体について、該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	荒廃農地所有者・賃借人(担い手を除く)等	割
b	担い手(認定農業者等)	割
c	新規就農者	割
d	農業に参入した企業	割
e	市町村公社等	割
f	その他(具体的に→)	割

(3) (2)で「b:担い手(認定農業者等)への農地利用集積」を選択した場合において、その担い手について、該当する項目の割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	個人	割
b	法人	割

(4) 荒廃農地を再生した者(実施主体)と所有者はどのような関係ですか。該当する項目に割合を記入してください。(割合の合計は10割となります)

番号	項目	記入欄
a	隣接地耕作者	割
b	知人・親戚	割
c	農業委員会のあっせん等	割

(5) 荒廃農地の再生後に作付けされている農作物について、該当するすべての項目に

○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	従来より地域で栽培されている作物	
b	新規作物	
c	地域の伝統作物	
d	景観作物	
e	緑肥作物	
f	資源作物(油糧作物等)	
g	放牧利用	
h	その他(具体的に→	

【14】 荒廃農地の解消対策等について

(1) 今後、解消方法として取り組みたいと考えているもののうち、優先順位の高いものから順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	農業生産基盤整備や簡易な土地基盤整備による再生	
b	農地中間管理事業の活用	
c	市民農園・教育ファームとしての活用	
d	農地転用等非農業的利用(植林地、ビオトープ等)への転換	
e	非農地処理	
f	その他(具体的に→	

(2) 今後、荒廃農地の再生に取り組む主体として期待するもののうち、期待の高い方から順にその順位を記入してください。

番号	項目	記入欄
a	所有者(が自ら耕作するよう地域をあげて取り組む)	
b	認定農業者等の規模拡大を指向する農家(へ農地の集積を図る)	
c	新規就農者等(へ農地を貸付・売渡し)	
d	一般企業等(による農業参入)	
e	市町村公社等(による農作業受託及び管理受託等)	
f	NPO法人や地域住民等多様な主体(の参画・協働)	
g	農地中間管理機構(の活用)	
h	その他(具体的に→	

【15】 荒廃農地の再生に取り組むにあたり、市町村、農業委員会、農協、土地改良区、農家以外で協力している者はいますか。

該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	周辺住民	
b	都市住民	
c	市民グループ	
d	学校	
e	企業	
f	NPO法人	
g	研究者等アドバイザー	
h	中山間地域等直接支払制度の協定集落や農地・水保全管理支払交付金の活動組織	
i	なし	
j	その他(具体的に→	

【16】 荒廃農地の再生に取り組むにあたり、今後、農業委員会、農協、土地改良区、農家及び農地中間管理機構以外で協力を得たいと考えている者はいますか。
該当するすべての項目に○を記入してください。(複数回答可)

番号	項目	記入欄
a	周辺住民	
b	都市住民	
c	市民グループ	
d	学校	
e	企業	
f	NPO法人	
g	研究者等アドバイザー	
h	中山間地域等直接支払制度の協定集落や農地・水保全管理支払交付金の活動組織	
i	なし	
j	その他(具体的に→	

ご協力ありがとうございました。